

「中国での春節を迎え」

洲澤 輝

＜中国の春節について＞

今年、中国では2月4日から2月10日まで旧正月・春節の大型連休を迎えました。今年は2月5日が春節なので2月4日が大晦日に当たります。中国では大晦日がとても大事な日であり、この日は家族揃って一緒に食事をする習慣があります。

上海には地方から出稼ぎに来ている方達が沢山いますが、この日は故郷へ戻り家族との時間を大切にします。春節期間中は家族や親戚と集まり、食事やお酒を共にし、一緒にテレビを見るなど日本の正月とほとんど変わらない過ごし方を送っている人が多いようです。

大晦日は私も自宅でテレビを見ていたのですが、日本の安倍首相が中国に対して“新年の挨拶”をしているのを見ましたが、これを見ていた中国人の友人は、「日本の総理大臣が中国の春節に中国人に対してメッセージを送るのを初めてみた」と驚いていました。安倍首相は中国語を用いて「皆さん、新年おめでとう」と挨拶するなど、現在の日中関係が良い方向に向かっていると感じ取ることが出来ました。

＜春節に海外旅行＞

冒頭では、春節は一般的に故郷へ戻り家族との時間を大切にすると述べましたが、一方で同期間中に海外旅行をする人達も近年増加しています。日本はその旅行先として人気の一つです。

先日、日本のニュースを見ていると、中国人に人気のある大衆薬や日用品、化粧品などを置く日本のドラッグストアが春節期間中には多くの中国人買い物客で賑わったとの記事が掲載されていました。

記事によると、メーカーによっては春節に合わせ、中国人が好む金色のパッケージの商品を限定販売し、中国語表示の商品説明を増やし販売強化を行ったとの事です。

また、あるメーカーにとっては中華圏が海外売り上げの9割以上を占めているとの事から、春節に合わせ自社商品を中国人観光客にPRし、ブランドイメージ向上や需要拡大を狙ったものと解説されていました。

＜私の春節の過ごし方＞

私も春節休みを使って中国の安徽省へ旅行に行ってきました。安徽省は上海の北西に位置し、上海から高速鉄道を使い約4時間で到着します。安徽省の大自然が広がる観光スポットを巡り、上海では普段体験できない乗馬体験やヤギの群れを見ることができました。

安徽省は中国の内陸部ですが、意外にも観光地には日本語表記の案内板が設置されており、日本人観光客の誘致を図っていることが分かりました。ですが、中には翻訳が上手くされておらず、意味がよく分からない日本語もありました。

現地では、夕方から夜にかけて道路沿いに沢山の屋台が店を開きます。春節期間中にも関わらず、沢山の屋台が営業をしていることにも驚きました。



【安徽省屋台 支払いはスマートフォン】

屋台には、地元の名物を始め、海鮮を炒めたもの、鶏肉を揚げたもの、焼きそば、臭豆腐、独特な飲料など、どれも私の興味を引くものばかりでした。また価格も安く、ほとんどが5元から10元で購入する事が出来ます。私も初めて食べるモノばかりでしたが、味はどれも美味しく、満足できました。中国の国土面積は日本の約26倍と言われていています。地方ごとに特色もあり、それぞれの文化、言葉、習慣も異なります。旅先ではいつも私に様々な発見を与えてくれます。ここ中国には、まだまだ沢山の魅力が詰まっています。それはビジネスの地としても観光地としてもどちらの意味も含まれています。そのような意味から、やはり中国は特別な魅力を持った国であると感じています。

【安徽省屋台グルメ】
海鮮・野菜・肉等
種類は豊富

1本5元から